

(様式第4号)

令和8第1回 上田市子ども・子育て会議 会議概要

1	審 議 会 名	上田市 子ども・子育て会議		
2	日 時	令和8年8月5日（水） 午後1時30分から午後3時45分まで		
3	会 場	ひとまちげんき・健康プラザうえだ 2階 多目的ホール		
4	出 席 者	千葉会長、小山副会長、岩下委員、大隅委員、岡本委員、小柳委員、傘木委員、片桐委員、斉藤委員、佐藤委員、佐野委員、下村委員、高井委員、高橋委員、八反田委員、翠川委員、宮下委員		
5	市側出席者	山賀健康こども未来部長、櫻井健康推進課長、小岩井保育課長、上田障がい者支援課長、渡辺学校教育課長、遠藤子育て・子育て支援課長、戸谷母子・精神保健担当係長、中沢母子・精神保健担当係長、宮沢発達相談センター次長、山口保育担当係長、大木保育担当係長、大木障がい者支援担当係長、高橋子育て・子育て支援担当係長、高寺こども家庭福祉担当係長、飯森子育て・子育て支援担当主任		
6	公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開		
7	傍 聴 者	1人	記者	0人
8	会議概要作成年月日	令和8年8月6日		
協 議 事 項 等				
1	開会（遠藤子育て・子育て支援課長）			
2	あいさつ（山賀健康こども未来部長）			
3	人事通知書の交付			
4	委員自己紹介			
5	事務局紹介			
6	上田市子ども・子育て会議について【資料1】 事務局から説明			
7	会長・副会長の選出			
8	議 事			
	(1) 令和7度上田市子ども・子育て支援事業実施状況等について【資料2】【資料3】 事務局から説明 (委員) 【資料3】量の見込みと実績について。 既存の施設で全て確保できた旨の説明であるが、一時預かりにおいて希望園で受け入れてもらえなかったという声を聞いており、そのような状況の確保についてはどうか。 (事務局) 希望が集中し、第一希望の園で受け入れられない場合は、同日で一時預かりを行っている希望園以外の園と調整して受け入れを行っており、全体として確保に取り組んでいる。 (委員) 第二希望、第三希望を出してもらおうという保護者への声掛けはあるのか。 (事務局) 保育園の間で調整を図りながら、保護者へご案内している。			

(委員)

【資料 3】 1 ページ目 1 (1) の表中の「量の見込み」「確保の内容」の違いは何か。

(事務局)

事業計画の欄「量の見込み」は、数量の見込みであり、それに対して実際に確保した内容が、実績欄中の「確保の内容」の数値である。

(委員)

【資料 2】 No.41「職員配置の充実」について、慢性的な保育士不足の中で、市独自の配置基準の見直しや多様な人材の活用について、具体的にお伺いしたい。

(事務局)

市の保育士不足に対する取組としては、保育士の処遇改善として市からの給付や補助を国の制度を活用しながら行っている。

(委員)

昨今は、熱中症対策や物価高、人件費高騰など処遇改善加算の算定のために事務的な業務量がかなり増えている。園が使いやすい給付や支援が盛り込まれると、運営側も余力ができて人材確保により注力でき、職場改善にもつながると思う。

(委員)

【資料 2】 No.1「結婚支援」について、個人情報保護の関係から事業結果の状況把握は難しいと思うが、どの程度の把握ができたのか。

(事務局)

結果の把握は難しい中ではあるが、民間での多様なサービスを利用する方もいる一方で、市主催の事業では多くの方にご参加いただいております、気運の醸成ができればよいと考えている。

(委員)

例えば結婚届を出すと、何かお得なことがあるといったことなど、委員さんの中でよい案はないか。

(委員)

軽井沢町では、婚姻届が特別な台紙であると思う。数値目標に掲げるのは難しいと思うが、少しでもお得なことがあると届を出すきっかけになるかもしれない。

(委員)

【資料 2】【資料 3】について。

質の評価は、どのようなメンバーがどのように評価をしているのか。

(事務局)

第 3 次上田市子ども・子育て支援事業計画の策定にあたっては、関係課会議を行い、担当事業をピックアップして計画を立てた。また事業の質についても、それぞれの担当課で話し合いを重ねてきた。今後も委員からいただいた意見を取り入れながら進めてまいりたい。

(委員)

【資料 2】 No.3～5「プレコンセプションケア」について、助産師としても協力していきたい。長野県助産師会では、高校生向けにプレコンセプションケア講座を無料で行っている。プレコンサポーターの養成も行っているので、活用していただければと思う。

(2) 就学前教育・保育施設整備交付金を活用する民間保育所助成事業について【資料 4】

事務局から説明

(委員)

この事業自体は良いと思うが、当該国の交付金は予算の幅等はあるのか。

(事務局)

事前に希望する自治体が登録を行い、その中で国が交付金の内示を行う。国の令和 8 年度予算中で、優先順位をつけて交付決定を行っている。

(委員)

他にも希望があった場合は、どのように決めるのか。

(事務局)

今年度については、具体的な要望があったのが当事業者のみであったが、国と市に予算があるため、要望を受けて事業概要をお聞きし、複数件あった場合には優先順位を付け、県、国の担当者と協議しながら決めていく。

(3) 乳児等通園支援事業の利用定員の設定について【資料5】

事務局から説明

(委員)

「2 対象者数、認定状況」について、対象者数 848 人、認定者数 49 人となっているが、認定はどのようにしているのか。

(事務局)

こども誰でも通園制度は、システムで利用登録をしてから、実際に利用いただく流れとなっており、利用登録をした方の人数が 49 人である。

(委員)

こども誰でも通園制度の認知度が上がり、かなりの人数が登録した場合はカバーできるのか。

(事務局)

現時点では十分カバーできているが、今後、利用が増えることが想定される。利用状況を踏まえながら、公立園で対応する園を増やすことや、利用定員を増やすことなど検討したい。一時預かりは、こども誰でも通園制度とは別に運用しており、全体の利用状況を注視して、それに見合った配置を考えていきたい。

(4) 保育提供体制の実施計画の承認について【資料6】

事務局から説明

(委員)

国の補助金にいくつか種類があると思うが、この補助金を選んだ理由は何か。また、対象者は何名か。

(事務局)

この補助金を選んだ理由は、保育士の確保・定着が困難であることに対してフォローしたいという前提があり、国補助金の活用にあたっては、上田市の現在の状況として一番見合っていたものが「保育士宿舍借り上げ支援事業補助金」であった。なお、対象者については、今後とりまとめをする中で、順次把握してまいりたい。

(委員)

この事業は公立園、私立園のどちらなのか。

(事務局)

こちらの事業については、私立園が対象となる。

(5) 放課後児童施設個別施設計画について【資料7】

事務局から説明

質問・意見等なし

(6) 児童館・児童センターの土曜日休館に関する市民意見募集手続きの結果及び土曜日休館の実施について

事務局から説明

(委員)

土曜日の休館について、児童館では 18 歳未満までが対象であり、地域の拠点事業としての役割がある。その中で、児童館・児童センターの活動は、小学生低学年向けの活動が主になっているため、土曜日の利用実績が減っているとも解釈できる。建物自体は税金を使って建てたものが、魅力のある活動や市民の皆さんのニーズに応えるソフト面の提供ができない結果、利用実績が下がっているとも捉えられる。現在の利用実績を踏まえると、休館になるのもやむを得ないが、その分の土曜日の活用について、大きな視点で捉えていただきたい。

(事務局)

現状、利用者のほとんどが小学生で、それ以外の年齢の皆さんに対して周知も行っているが、利用者が小学生であるという印象が強い状況である。より効果的な活用については、自治会や指定管理者と協議しながら、新たな取組についても検討してまいりたい。

8 全体をとおして

(委員)

【資料 2】No.22「予防接種」に関連し、ヒトパピローマウイルスのワクチンについて、子育て応援ハンドブックには、おすすめの接種時期が 13 歳からと記載があり、定期予防接種になっており、はしかや風疹と同じ扱いなので、ほとんど方に接種してほしいワクチンである。時代が変わってきているので、小学校 6 年生頃からの接種を検討していただきたい。また、子育て応援ハンドブックを修正していただいて、定期接種としての立ち位置を確保していただきたい。

また、国外ではヒトパピローマウイルスのワクチンは男子も行っているところが増えてきている。日本の中でも男子への予防接種を推奨する自治体も出てきているのではないかと思います。上田市での男子へ予防接種は任意とするのか。

(事務局)

標準的な接種期間として 13 歳からご案内しているが、もう少し時期を早められるのかどうか研究してまいりたい。また、12 歳から 16 歳まで A 類という接種義務のある定期接種に位置付いている。男性へのヒトパピローマウイルスの接種については、まだ定期接種に位置付けられていない。定期接種に位置付けるかどうかを話し合う国の審議会では俎上には上っている。今後定期接種化されたら、上田市でも接種体制を整えて接種勧奨していきたい。

9 その他

「上田市子どもの権利条例制定について」【当日資料】

事務局から説明

質問・意見等なし

10 閉 会